

ボラセンだより

Volunteer Center Letter

No.2

泊村ボランティアセンター

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2
TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763

令和6年度能登半島地震復興支援のため災害ボランティア活動に向かいました

災害ボランティア活動とは、地震や水害、火山噴火などの大規模な災害が発生した際、被災地のために復旧・復興のための支援活動です。

令和6年5月15日～21日(7日間)石川県志賀町災害ボランティアセンター運営支援に事務局長高橋幸大が復興支援に向かいました。元旦に発生した地震により能登半島の多くの方々が被災され、5ヶ月が経過しましたが、被災当時の状況と変わらず修復がされていない場所もあり、避難所生活者は現在でも130名近くいる状況です。

災害ボランティアセンターは6月1日から被害が大きかった半島奥地側へ移転し、活動をさらにスピード感を出す体制にシフトします。ライフラインや建物修復などのハード面も大切ですが、今後は避難・転居等によりコミュニティ形成が崩れ(世帯数が大幅に減少した等)地域の人々のつながりが薄くなっている問題について「社協」の力を発揮してサポートしなければならないと強く感じました。泊村から今私たちができることを微力ながらですが、継続していきます。

被災状況



更生保護女性会の会員募集について



「更生保護女性会(以下、女性会)」は全国的に展開されているボランティア団体として、青少年の健全な育成を助け、犯罪を犯した人や非行歴のある少年たちの生活改善や更生に協力することを目的に活動しております。女性会は岩宇地区4カ町村で構成されており、主な活動としては、岩内厚生園の訪問や子どもたちの交流会を実施、札幌市にある大谷染香苑・文化院に食事づくりの手助けをしております。また、保護司会への協力・参画事業にも協力しております。昨年、女性会も50周年を迎えた歴史のある会で、これかも会員一同協力しながら継続的に活動을続けて参りたいと思います。会の趣旨に賛同いただける女性の方限定でございますが、どなたでも参加できますので、大橋敦子 75-3307までご連絡をお願い致します。